

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月12日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 グランディーズ

コード番号 3261 URL <http://grandes.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 亀井 浩

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理部門担当

(氏名) 枇杷木 秀範

TEL 097-548-6700

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	518	—	83	—	84	—	51	—
24年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	49.85	48.37
24年12月期第2四半期	—	—

(注)当社は、当事業年度から四半期財務諸表を作成しておりますので、平成24年12月期第2四半期の記載および平成25年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	664	310	46.7	299.40
24年12月期	761	258	34.0	250.95

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 310百万円 24年12月期 258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,470	24.4	190	14.4	190	19.6	115	24.9	110.90

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期2Q	1,037,000 株	24年12月期	1,031,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期2Q	— 株	24年12月期	— 株
-----------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	1,033,950 株	24年12月期2Q	757,000 株
-----------	-------------	-----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、平成25年8月12日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、景気が各種の政策効果により着実に持ち直し、先行きに対する期待感も徐々に高まることとなりました。生産が持ち直し、企業収益も改善してきました。輸出には持ち直しの動きが見られ、設備投資もほぼ下げ止まりました。個人消費が持ち直し、企業の業況判断も上向いてきました。

住宅・マンション業界は、新設住宅着工戸数が堅調に推移し、消費マインドが上向いてきたことにより販売環境も大きく改善しました。都心部のマンション販売の活況は地方の中核都市圏へ広がりを見せ、下落傾向にあった土地価格にも変化の兆しが見えてきました。大分地域経済圏でも住宅建設が前年を上回って推移し、新大分駅周辺に大量供給される分譲マンションを中心に好調な売れ行きが続きました。

このような環境下、当社は主力事業である建売住宅販売に経営資源を集中するとともに投資および分譲マンション販売事業の計画的推進を図り、コストの削減および財務の健全化に取り組みました。また、他県進出にも一步を踏み出し、宮崎市での用地取得活動を開始しました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は518,902千円、営業利益は83,647千円、経常利益は84,228千円、四半期純利益は51,547千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は654,090千円となり、前事業年度末に比べ98,729千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が178,822千円減少、仕掛販売用不動産が79,348千円増加したこと等によるものであります。固定資産は10,392千円となり、前事業年度末に比べ1,569千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,217千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は664,483千円となり、前事業年度末に比べ97,159千円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は201,328千円となり、前事業年度末に比べ137,898千円減少いたしました。これは主に短期借入金が58,200千円、1年内返済予定の長期借入金が54,890千円、未払法人税等が32,799千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は152,676千円となり、前事業年度末に比べ11,012千円減少いたしました。これは主に長期借入金が12,108千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は354,004千円となり、前事業年度末に比べ148,911千円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は310,478千円となり、前事業年度に比べ51,751千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が51,547千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.7%（前事業年度末は34.0%）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前四半期純利益の計上、不動産事業受入金の増加等による資金の獲得があったもののたな卸資産の増加、長期借入金の返済による支出等による資金の使用があったことから、前事業年度末と比べ172,322千円減少しました。その結果、当第2四半期累計期間末の残高は209,198千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は53,742千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上による増加額84,228千円、たな卸資産の増加による減少額83,587千円、未成工事受入金の減少による減少額10,623千円、不動産事業受入金の増加による増加額31,970千円、法人税等の支払いによる減少額63,955千円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は6,500千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出4,800千円、定期預金の払戻による収入11,300千円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は125,079千円となりました。これは主に短期借入れによる収入49,800千円、短期借入金の返済による支出108,000千円、長期借入金の返済による支出66,998千円等によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期通期の業績予想については、当面は順調な計画の進捗が見通せることから、平成25年7月12日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した予想数値を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	398,821	219,998
販売用不動産	38,691	51,074
仕掛販売用不動産	295,771	375,119
未成工事支出金	8,144	—
その他	11,391	7,897
流動資産合計	752,819	654,090
固定資産		
有形固定資産	100	1,317
投資その他の資産	8,722	9,075
固定資産合計	8,823	10,392
資産合計	761,642	664,483
<b>負債の部</b>		
流動負債		
不動産事業未払金	40,790	36,591
工事未払金	4,556	49
短期借入金	96,000	37,800
1年内返済予定の長期借入金	105,681	50,791
未払法人税等	63,947	31,147
その他	28,250	44,948
流動負債合計	339,226	201,328
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	113,319	101,211
その他	370	1,465
固定負債合計	163,689	152,676
負債合計	502,915	354,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,918	70,020
資本剰余金	59,888	59,990
利益剰余金	128,921	180,468
株主資本合計	258,727	310,478
純資産合計	258,727	310,478
負債純資産合計	761,642	664,483

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	518,902
売上原価	369,150
売上総利益	149,751
販売費及び一般管理費	66,103
営業利益	83,647
営業外収益	
受取利息	40
受取配当金	2
受取手数料	1,920
その他	753
営業外収益合計	2,716
営業外費用	
支払利息	1,808
その他	327
営業外費用合計	2,135
経常利益	84,228
税引前四半期純利益	84,228
法人税、住民税及び事業税	31,156
法人税等調整額	1,524
法人税等合計	32,681
四半期純利益	51,547

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間  
(自 平成25年1月1日  
至 平成25年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	84,228
減価償却費	153
受取利息及び受取配当金	△42
支払利息及び社債利息	1,808
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△83,587
前渡金の増減額 (△は増加)	300
前払費用の増減額 (△は増加)	1,257
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△114
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,707
未払金の増減額 (△は減少)	△6,682
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,350
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△10,623
不動産事業受入金の増減額 (△は減少)	31,970
預り金の増減額 (△は減少)	245
その他	3,944
小計	11,799
利息及び配当金の受取額	42
利息の支払額	△1,629
法人税等の支払額	△63,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△4,800
定期預金の払戻による収入	11,300
貸付けによる支出	△4,800
貸付金の回収による収入	4,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	49,800
短期借入金の返済による支出	△108,000
長期借入金の返済による支出	△66,998
株式の発行による収入	204
リース債務の返済による支出	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,079
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△172,322
現金及び現金同等物の期首残高	381,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	209,198

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第2四半期累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

当社は、不動産販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。